

《受験期の生活について》

1年生の仙木志依が紹介します！

・放射線専攻を選んだキッカケ

医療の地域格差に関心があったからです。特に、僻地に住んでいる祖父が救急搬送された際に放射線医療の地域間格差を強く感じ、自分自身が放射線技師となって問題解決に貢献したいと考えたため放射線専攻を志望しました。

・受験期の1日のスケジュール

私は3年生の5月に部活を引退しました。学校では夏から授業が終わった後に毎日18時頃まで課外講習があったので、基本的には18時までは学校で勉強、そのあとは22時まで塾で勉強をしていました。帰宅してからは、食事・入浴を済ませたのち0時から2時まで勉強して寝る、というのが平日の基本的なスケジュールでした。また、土日も学校の講習に参加して、終わったら22時まで塾にいるという生活をしていました。

・受験で苦労したこと

本番が近づいてきたのにも関わらず、思うように成績が伸びずに不安を抱えながら勉強していたのが大変でした。また、共通テストが終わってから2次試験に向けて本格的に対策を始めたとき、記述力が格段に落ちていたのがショックで、取り戻すのも大変でした。

・受験期の息抜きの仕方

私は、毎日のお風呂の時間だけは自由時間にすると決めていました。毎日20分ほどの入浴中にYouTubeを見たり、ラジオを聴いたりしてリフレッシュしていました。あとは、週に1回あった体育の時間は、常に全力投球で取り組んでストレスを発散していました。